

# 実践看護学特論

単位数（時間数）：1 単位（30 時間） 必修/選択：必修 履修年次：4 年次 開講時期：通年

科目責任者（職位・氏名）：教授・土田幸子

科目担当者（職位・氏名）：全専門領域教員

---

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢  
看護の基礎的・専門的知識・技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：100

## ■ 授業概要

今まで学んできた基礎科目や専門科目を看護実践の観点から統合し、看護実践者として機能していく力を形成できるよう教授する。看護のさまざまな事例を取り上げ、演習形式で展開する。

## ■ 到達目標

1. 看護実践能力に関わる学修到達状況を自己評価し、再学修すべき学修課題を明確化する。
2. 再学修の方法を提示し、自己学修計画を作成する。
3. 学修に主体的に取り組み、専門領域ごとの授業を通して、卒業到達レベルを達成する。

## ■ 教育内容

看護の統合と実践

## ■ キーワード

看護の統合、看護実践能力

## ■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	基礎看護学	基礎看護学の総復習	基礎看護学領域
2		小テスト	
3	成人看護学	成人看護学の総復習	成人看護学領域
4		小テスト	
5	老年看護学	老年看護学の総復習	老年看護学領域
6		小テスト	
7	小児看護学	小児看護学の総復習	小児看護学領域
8		小テスト	
9	母性看護学	母性看護学の総復習	母性看護学領域
10		小テスト	
11	精神看護学	精神看護学の総復習	精神看護学領域
12		小テスト	
13	在宅看護学	在宅看護学の総復習	在宅看護学領域
14		小テスト	
15	公衆衛生看護学	健康支援と社会保障制度の総復習 小テスト	公衆衛生看護学領域

## ■ 履修条件

特になし

## ■ 成績評価方法

看護師国家試験出題基準をもとに状況設定問題を中心とした試験 100%

## ■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

・希望者は、試験、事前に各領域の担当者にアポイントをとったうえで、指定された研究室等を訪ねること。

## ■ 教科書

・『デジタル ナーシング・グラフィカ』メディカ出版 全巻

## ■ 参考書・参考資料等

・各領域で必要時、提示する。

## ■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- ・授業前：復習し、苦手箇所を明らかにして授業に臨むこと（30分）。
- ・授業後：授業資料などの整理を行い、苦手箇所の克服ができるよう内容を確認すること（30分）。

## ■ 担当教員からのメッセージ

これまでに習得した看護学に関する知識、技術を振り返り、確実な理解につなげられるよう復習を行い、授業に臨んでください。自らの学修課題を明確化し、国家試験受験までの期間の自己学修計画を作成して課題達成に向けて取り組んでください。

## ■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

各担当教員に事前予約の連絡を忘れずに行ってください。

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の実務経験

看護師、保健師、助産師

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容

看護師、保健師の実務経験を活かし、卒業時に求められる看護に関する知識・技術を教授していきます。